

UAEの海水淡水化プロジェクト向け主要ポンプを受注

Societe Internationale de Dessalement (SIDEM) から Mirfa 2海水淡水化プラントIWP向け RO高圧ポンプなど計53台を受注

Mirfa 2海水淡水化プラントは、ペルシャ湾に面したUAEの首都アブダビの西110kmに位置しています。このプラントはRO(Reverse Osmosis)法が採用されており、120MIGD (Million Imperial Gallons per Day、約55万m³/日、一般家庭約21万世帯の使用量に相当)の造水能力を有する大型プラントです。

RO海水淡水化プラントは、高圧供給ポンプで昇圧した海水をRO膜(逆浸透膜)に通して海水と真水に分離させる方式のプラントで、大量のエネルギーを消費する蒸発法のプラントと比べてCO₂排出量を大きく抑制することができます。UAEでは脱炭素化政策を進めており、2030年までにUAE全体の造水量の90%以上をRO海水淡水化プラントで

まかなう計画です。本プラントはこの計画のなかで重要な役割を担うことになります。

トリシマが受注したポンプは、海水取水ポンプや高圧供給ポンプなど、プラント内での主要機器に位置付けられます。脱炭素化が求められる昨今、RO海水淡水化プラントの重要性が増しており、これらポンプに対してもさらなる高効率が要求されています。トリシマは、RO海水淡水化プラント向けポンプの豊富な納入実績、そこで培った技術・ノウハウを活かしてお客様の要求に応えられる高性能なポンプを供給し続け、水の安定供給・脱炭素化の両面で貢献していきます。

ポンプ名称	Sea Water Intake Pump	RO 1st Pass LP Booster Pump	RO 1st Pass High Pressure Pump	RO 1st Pass ERD Recirculating Pump
口径・形式	SPV1350	SPSY500×400	CDM500×400	CBR300-460
台数	4台	7台	7台	18台
原動機容量	3,950 kW	1,760 kW	8,300 kW	315 kW
ポンプ名称	RO 2nd Pass Feed Pump	Floated Water Pump	DMPF Backwash Pump	
口径・形式	SPSY400×350	SPSY700×600	CAW350×300K3	
台数	7台	5台	5台	
原動機容量	1,580 kW	1,350 kW	200 kW	